



Joint Coca-Cola and IUF Statement

コカ・コーラ — IUF 共同声明

本共同声明は、2005年3月15日にザ・コカ・コーラ・カンパニー(TCCC)とIUF並びにその加盟組合が開催した会議に則ったものである。

TCCCはコカ・コーラ・システム内の多くの労働者を始めとした、世界中の組織労働者を国際的に代表する組織として、IUFを承認する。

TCCCは同社の上級代表がIUFとその加盟組合から構成される代表グループと年に2回会合し、また毎会合の後次の会合までの間継続して、労使関係の上級管理職がIUFと連絡を取ることに合意する。

コカ・コーラは、コカ・コーラ労働者らが圧力や干渉を受けることなく、組合に加入する権利及び団体交渉の権利を行使できることを承認する。そのような権利は報復の恐怖や、圧力あるいはその他の如何なる形態の差別をも受けることなく行使されるものである。

これらの会合と連絡に関する継続協議事項のひとつに、人権と組合権に関する問題と、そのような協議に適切な労使関係問題に関わるコカ・コーラ内の慣行がある。その他の問題を含めるか否かは個別に検討される。

TCCCとIUFは、組合の権利及びその他のしかるべき労使関連問題について、継続的な協議のための枠組みを維持する事を約束する。

2005年3月15日

The Coca-Cola Company

Mike Semrau

IUF

Ron Oswald